

おおま

岬の光

No.

115

令和4年11月1日発行

議会だより



「大間小学校6年生 議会傍聴」

9月 定例 議会 主な 内容

○令和4年 第3回定例会

P 2

○令和3年度 歳入歳出諸決算

P 3

○一般質問

P 4～6

○臨時会・全員協議会・特別委員会

P 7

○議会のできごと・編集後記

P 8

第3回 9月定例会

令和4年第3回定例会を9月9日開会し、9月15日に閉会しました。
本議会に提案された認定1件、議案4件、同意2件は原案のとおり認定、可決、同意しました。

令和4年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億5818万円を追加し、歳入歳出の総額56億9904万円とした。

歳入の主なるもの

地方交付税

○普通交付税の交付額の確定に伴い8808万円追加。

国庫支出金

○国庫補助金で自衛的燃料備蓄推進事業費補助金3820万円追加計上。

県支出金

○県負担金で保育士等処遇改善臨時特例交

付金231万円。

○県補助金で県核燃料物質等取扱税交付金151万円減額し、青森県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金1625万円計上。

○寄附金でふるさと応援寄付金の寄付見込みの増に伴い3000万円追加。

○町債で臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い3834万円減額計上。

歳出の主なるもの

総務費

○総務管理費の財産管理費でふるさと応援基金積立金3000万円、地域福祉基金積立金4000万円それぞれ追加。

○企画費でふるさと応援寄付金用報償金1

176万円、ふるさと納税寄付額増の見込に伴い手数料217万円それぞれ追加計上。

民生費

○社会福祉費の社会福祉総務費で資機材価格の高騰に伴いくろまつ給湯設備更新工事341万円追加計上。

○児童福祉費の児童措置費で保育士等処遇改善臨時特例事業補助金114万円、青森県子育て世帯臨時特別給付金1625万円計上。
○保育所費で保育士等処遇改善臨時特例事業補助金117万円計上。

農林水産業費

○農業費の繁殖センター費で飼料原料の高騰に伴い飼料費817万円、接頭数の増に伴い手数料405万円それぞれ追加計上。

土木費

○道路橋梁費の道路新設改良費でアスファルト価格の高騰に伴い町道大間大間平4号線道路改良工事161万円、佐ヶ丘団地道路改良工事236万円追加計上。

○住宅費の住宅管理費で建築資材の高騰に伴い町営住宅大間崎団地建替工事800万円追加計上。

教育費

○中学校費の学校管理費で大間中学校バリ

予備費

○財政調整により567万円追加計上。

アプリー化改修工事設計委託料112万円、大間中学校玄関スロープ等設置工事884万円計上。

教育委員会委員の任命



高松 大助

人権擁護委員の任命



古畑 龍泉

第3回 9月定例会

歳入・歳出諸決算審査特別委員会報告

令和3年度

歳入・歳出諸決算を



①一般会計歳入決算

歳入	収入済額	53億827万6,477円	収入未済額	7,645万8,571円	予算額との比較	△4,480万523円
歳出	支出済額	50億8,773万6,321円			不用額	1億713万9,845円

②国民健康保険特別会計

歳入	収入済額	7億2,096万3,575円	収入未済額	1億5,757万4,439円	予算額との比較	1,358万9,575円
歳出	支出済額	6億9,533万6,667円			不用額	1,203万7,333円

③後期高齢者医療特別会計

歳入	収入済額	6,046万7,903円	収入未済額	169万5,300円	予算額との比較	△247万6,097円
歳出	支出済額	5,546万6,061円			不用額	747万7,939円

④介護保険特別会計

歳入	収入済額	6億8,725万7,269円	収入未済額	1,551万1,122円	予算額との比較	1,200万269円
歳出	支出済額	5億9,107万4,361円			不用額	7,645万2,639円

⑤下水道事業特別会計

歳入	収入済額	2億536万7,166円	収入未済額	198万4,303円	予算額との比較	410万8,834円
歳出	支出済額	2億536万7,166円			不用額	410万8,834円

⑥水道事業会計 (1)収益的収入及び支出

歳入	収入済額	1億7,194万8,742円	予算額に比べ決算額の増減	△170万8,258円
歳出	支出済額	1億5,928万7,205円	不用額	280万3,795円

(2)資本的収入及び支出

収入済額	1億24万6,291円	予算額に比べ決算額の増減	△2,173万709円
支出済額	1億7,208万9,959円	不用額	1,529万4,041円

⑦大間町健全化判断比率 ()内は、当町の早期健全化基準比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
△7.8% (15.0%)	△17.0% (20.0%)	12.9% (25.0%)	12.6% (350.0%)

⑧大間町資金不足比率 (経営健全化基準比率は20.0%である)

大間町水道事業会計	0.0%
大間町下水道事業特別会計	0.0%

監査委員から

審査の結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに水道事業会計決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、それぞれの関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと確認した。また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証書類と符合しており誤りのないものと認められた。

留意改善を要する事項

収入未済額の主な理由は、第一次産業の著しい不振に加え依然として景気低迷が続いていること、並びに、納税意識の低下が主なる要因と考えられるが、財政環境が一段と厳しさを増している中、公正、公平な負担と財源確保の観点から、収入未済案件の実態を把握し、引き続きその解消と新たな発生防止を図る必要がある。

町税及び各特別会計の収納対策として、青森県市町村税滞納整理機構へ徴収依頼し収納率向上を図っているところでもあり、町税及び国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、奨学基金貸付金は、前年と比較し収納努力が認められるもののさらなる収納対策を講ずるよう今後も継続実施していただきたい。なお、公金の取り扱いに関しては、職員それぞれが公務員としての立場を改めて認識し事務にあたっていただきたい。

一般質問



岩泉 盛利 議員

質問時間 40分

大間原子力発電所建設について

問 発電所建設誘致から38年になろうとしている。工事再開も再三延期になり既に7年が経ち、町の地域振興策にも大きな影響を及ぼしていると思う。大間地域の商店街もシャッターを下ろした店が多く、奥戸地区においては店舗が1軒のみで、材木地区には店が無くなってから久しい。これらについて、町長の具体的な方策があるのか。

再質問 平成27年9月4日に1回目の1年延期の発表時に前の本部長が、本工事の延期により町の地域振興などの実現に影響をおぼすことになる。発電所の運転開始時期に関わらず、町の財政支援要望などに踏まえた各種地域振興等に向けて具体的着実に実現に向けて協力をしたいと述べておられます。この発言を把握しておりますか。



奥戸町営住宅

町長答弁 今建設中の複合施設の維持管理に毎年2500万円必要になる。それらの費用を会社にお願いたいと考えている。またフェリーの存続に関する支援も議会で共に会社に要望して行く考えだ。

町長答弁 今建設中の複合施設の維持管理に毎年2500万円必要になる。それらの費用を会社にお願いたいと考えている。またフェリーの存続に関する支援も議会で共に会社に要望して行く考えだ。

問 町民との公約において約束した給食センターの建設計画は進んでいるのか。

町長答弁 現在基本計画を策定中で建設候補地の選定、センターの規模や事業費及び運営費の検討を進めている。

再質問 候補地には、旧奥戸中学校、大間小学校敷地内や大間中学校の敷地内と旧車庫解体跡地の4ヶ所を選定している。

町長答弁 5年度実施計画を行い6年度建設工事着手、7年度供用開始の予定。

再質問 RAB開発が計画策定業務を委託、履行期限は、令和5年3月で候補地に4ヶ所上げて候建設場所はいつ頃決まるのか。

町長答弁 委託契約をしたばかりであるが来年の3月31日までは確実に決定する。

再質問 候補地については、町の財政を考えた時、新築よりも旧奥戸中を改修して活用したほうが良いのでは。

町長答弁 最初は奥戸中の利用を考えたが、各中学校に併設したほうが安く迅速にできる、今後予算の計画もあり皆さんと協議して進めていきたい。

再質問 施設の規模について単独か、佐井、風間浦との広域にするかについて協議を行っているそうであるが両村の返答はいつになるのか。

町長答弁 佐井村では負担が少なれば弁当を考慮している。風間浦は賛成である。町単独だと400食、広域の場合は500食になり

問 町民との公約において約束した給食センターの建設計画は進んでいるのか。

町長答弁 現在基本計画を策定中で建設候補地の選定、センターの規模や事業費及び運営費の検討を進めている。

再質問 候補地には、旧奥戸中学校、大間小学校敷地内や大間中学校の敷地内と旧車庫解体跡地の4ヶ所を選定している。

町長答弁 5年度実施計画を行い6年度建設工事着手、7年度供用開始の予定。

再質問 RAB開発が計画策定業務を委託、履行期限は、令和5年3月で候補地に4ヶ所上げて候建設場所はいつ頃決まるのか。

町長答弁 委託契約をしたばかりであるが来年の3月31日までは確実に決定する。

再質問 候補地については、町の財政を考えた時、新築よりも旧奥戸中を改修して活用したほうが良いのでは。

町長答弁 最初は奥戸中の利用を考えたが、各中学校に併設したほうが安く迅速にできる、今後予算の計画もあり皆さんと協議して進めていきたい。

再質問 施設の規模について単独か、佐井、風間浦との広域にするかについて協議を行っているそうであるが両村の返答はいつになるのか。

町長答弁 佐井村では負担が少なれば弁当を考慮している。風間浦は賛成である。町単独だと400食、広域の場合は500食になり



旧車庫



旧奥戸中学校

再質問 いずれにしても、この計画はあなたの公約でありまた町民の思いでもあります。確実に実現出来るよう頑張ってください。

町長答弁 公約どおりにはいかないが、任期内に建設までいければいいと思っております。また大間高校の存続問題もありませんが、給食の対象にできれば180人程度は増えるとも考えております。

一般質問



野崎 信行 議員

質問時間 60分

問1 サル、熊等における農業被害への対策と、研究など有効利用について

町長答弁 サル対策については、業務委託により、サルの捕獲や追い払い等の対策を行っており、罠の見回り等についても委託業者が行っております。熊対策については、熊の罠の見回りを職員で行っております。

産業振興課長答弁 サルについては、令和3年度までは、弘前大学で研究用として行っていたのを承知しています。今現在は、研究を行っていないということで、捕獲したものについては、全部処分

ということになっております。

問2 町内の下水溝掃除への対策について

町長答弁 町内からの要望や現地調査等を踏まえ、道路維持管理の一環として実施できるかどうか検討してまいりたいと思います。

問3 町民へのマイナンバーカードの普及状況、広報告知等について

町長答弁 交付されている件数は、8月末現在で1,601件、取得率は32.2%となります。今後、国の動きに合わせた住民への周知普及促進をしてまいります。

問4 本町のデジタル田園都市国家構想への取組について

町長答弁 今後、先例自治体の取組で大間町の参考になる事案がありましたら注視してまいりたいと思います。

問5 津軽海峡における安全保障上の危機管理における町民、漁業者の保護、避難計画の策定について

町長答弁 現在、これに対する具体的な対策や計画はございませんが、漁業者をはじめ町民の安全を確保するため、社会情勢を注視し、情報収集の方法などを調査するとともに想定されるリスクに備え対策を検討してまいりたいと考えております。

問6 大間沖に沈んだ旧日本海軍特務艦「豊国丸」の調査、大学、研究機関との連携について

町長答弁 現時点では本格的な調査を行う考えはありませんので、大学や研究機関と連携する考えもございません。

問7 津波対策、避難タ

ワーや津波救命艇の設置について

町長答弁 高台へ避難する時間が確保できることから設置の予定はございません。

問8 子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく、新たな町の図書施設の設置、取組について

町長答弁 新規に図書施設を設置する予定はございません。

問9 地域のゴミリサイクル回収の町内会への委託、取組について

町長答弁 町が町内会にそのことを委託する考えはございません。

問10 不登校特例校に設置、本町の不登校子どもの実態把握、状況について

町長答弁 学期ごとに長期欠席者を調べて実態を把握し、校長会において情報共有を図っております。また、状況に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用しながら不登校児童生徒の対応にあたっております。

波対策、避難タ

問11 道内と本州結ぶ海底送電ケーブルの把握及び変電施設の誘致について

町長答弁 送電ケーブルや変電施設については、電気事業者の課題であることから、大間町として誘致する考えはございません。

問12 工業団地の整備について

町長答弁 現時点では、大間町で整備する考えはございません。

問13 ゼロカーボンシティ宣言について

町長答弁 省エネルギーの推進に向けた周知を進めながら、宣言を行う方向で検討してまいりたいと思います。

問14 学校施設、ZEB化の推進について

町長答弁 大間並びに奥戸小学校はすでに太陽光発電設備を設置して省エネに取り組んでいます。また、大間中学校においては、今後の大規模改修時にゼロエネルギービル化を検討していきたいと考えております。

波対策、避難タ

問15 フェリー事業における赤字対策、事業継続における企業との連携、計画について

町長答弁 特別委員会でご報告させていただきましたのでご理解をお願いいたします。

問16 農業振興地域の除外について

町長答弁 町として農用地区域の農地を活用することができませんので、現在は解除する考えはございません。

問17 大間町各漁協でのマグロ水揚げ量増量に関する農林水産省、水産庁への陳情活動について

町長答弁 令和2年2月に、町・議会・両漁協・商工会・観光協会と陳情行っております。また、これからやるとしても陳情活動とともに応じて、両漁業を交えて協議していきたいという考えであります。

25の質問の中から17を掲載いたしました。

第1回臨時会

令和4年7月29日開
会し、本議会に提案さ
れた議案2件は原案通
り可決された。

【議決案件等】

1. 財産の取得につい
て

専決処分し予算措置
した感染予防対策マイ
クロバス購入について。
7月20日に入札を執
行し、1千209万
5,143円で落札さ
れ、落札者と仮契約を
締結した。

2. 令和4年一般会計
補正予算(第2号)

(仮称) 複合施設建
築事業費及び生活困窮
者に対する原油価格・
物価高騰対策商品券事
業費並びに予備費に伴
う補正予算措置を講じ
歳入歳出それぞれ3,
491万5千円を追加
し、歳入歳出の総額を
それぞれ55億4,0
86万7千円とした。

第2回臨時会

令和4年10月14日開
会し、本議会に提案さ
れた議案1件、同意2
件は原案通り可決、同
意された。

【議決案件等】

令和4年一般会計補正
予算(第4号)

新型コロナウイルス
感染症対策費及び予備
費に伴う補正予算措置
を講じ歳入歳出それぞ
れ7,828万1千円
を追加し、歳入歳出の
総額をそれぞれ57億
7,733万円とした。

特別委員会

(令和4年9月9日)

【大間原子力発電所対
策特別委員会】

大間原発の安全対策工
事延期について

電源開発(株)の倉田一
秀現地本部長が、特別
委員会に出席。この中
で、地震対策などにつ
いての原子力規制委員
会の審査が長引いてい
るとして、これまで
「今年後半」としてい
た安全対策工事を始め
る時期を、「2年程度
延期して、2024年
後半」とする方針を説
明した。

人権擁護委員の任命



山本 隆

教育委員会教育長の任命



岩佐 育夫

これに伴って「20
28年度頃」としてい
た運転開始の時期も延
期して「2030年
度」を目指す方針を委
員全員に説明した。安
全対策工事の延期は今
回で5回目、委員か
らは「なぜ工程が進ま
ないのか不信任感が募っ
ている」「延期は町に
とって重大な問題で何
回も延期して責任を感
じないのか」などと厳
しい意見が相次いだ。
これに対し、電源開発

(株)倉田本部長からは
「私たちの力が及ばず
申し訳ありません」と
陳謝した上で、203
0年度の運転開始を目
指して全力で取り組む
姿勢を強調した。

(令和4年10月14日)

【大間町公共施設配置
計画策定・建設特別委
員会】

(仮称) 複合施設建設
事業について

旧役場跡地に整備を
進めている(仮称)複
合施設建設事業につい
て、完成が令和5年2
月から令和6年2月に
1年程度ずれ込むとの
報告があった。基礎工
事後に敷地内で地盤沈
下が確認され、調査や
工事のやり直しが必要
になったため。町から
は6月から9月につい
て基礎の一部で最大
5cmの沈下が確認され
て、今後は
専門家や業者による調
査の結果、地中に固化
剤で固まりにくい層が
あることが判明し、工
法の変更が必要なこ
とから工期が延びた。地
盤沈下の原因は不明だ
が、改めて調査した結

果、工事の再開に問題
がないと判断した。追
加で発生する費用につ
いては設計業者・施工
業者が負担する。

全員協議会

(令和4年10月11日)

案件「新型コロナウイルス
感染症対応地地方創
生臨時交付金を活用す
る事業について」

1. 大間町燃料費高騰
対策事業者支援事

原油価格の高騰によ
り影響を受けている漁
業者、運送事業者、建
設事業者及びその他の
事業者の支援として、
漁船又は道路交通法に
定められている準中型
自動車(車両総重量
3.5トン)以上のう
ち最大積載量2.1ト
ン以上の車両又は乗車
定員11人以上の車両を
所有している者又は本
店、支店、営業所等の
所有者で、

・漁業者は、漁船を所
有し大間漁協又は奥戸
漁協に水揚げがあり、
漁船保険に加入してい
る者。ただし、複数の
漁船を有している者

は、トン数の大きい漁
船の1艘とする。
・運送業者・建設業者
その他の事業者は、右
記の車両を有している
者。ただし、リース(レ
ンタル)自動車、車両
積載自動車、特殊自動
車は対象外とする。
○総事業費 2,57
1万円

2. 避難所感染予防対
策備蓄品等購入事

新型コロナウイルス
感染症の現下の状況を
踏まえ、避難所におけ
る3密対策として、炊
き出しを行わない個食
非常食及び避難所での
必要備蓄品を購入す
る。

○総事業費 204万
154円

3. 大間町物価高騰対
策商品券配布事業

エネルギー・食料品
価格等の物価高騰の影
響を受けている世帯に
対し、商品券を配布し
町内における消費の下
支えしながら地域経済
の活性化を図る。

1世帯当たり、1万円
の商品券を配布
○総事業費 2,75
5万1,500円

大間町議会の出来事

大間町繁殖育成センター 指定管理に係る視察

山梨県 小淵沢町 八ヶ岳牧場



意見交換の様子＝10月21日



施設見学の様子＝10月21日

10月20日～22日
山梨県小淵沢町にある八ヶ岳牧場へ大間町繁殖育成センター指定管理に係る視察を行いました。
視察参加者は、議会から10名と町からは町長と産業振興課2名。

町村議会広報研修会 参加

3年ぶりの開催



研修会会場の様子＝9月20日

令和4年度町村議会広報研修会が9月20日に、東京都千代田区にあるシェーンバツハ・サポーで3年ぶりに開催されました。
全国の町村の議会広報の担当者が集まり大間町議会からは、吉田委員長、岩泉委員、野崎委員の3名が出席しました。



吉田・野崎・岩泉委員＝9月20日

4時間(休憩を含む)の研修会でしたが、議会広報の重要性と読む町民の皆様が議会に関心を持てる広報の編集を行っています。

研修会は、3つをテーマにした構成になっていました。

講師 越地 真一郎氏

「そろそろ化けませんか!!」
～絶滅危惧から持続可能な

議会広報へ～

講師 谷 浩明氏

「これからの議会広報を考える
～住民に「伝わる」情報発信と

広報紙作成のポイント～」

講師 吉村 潔氏

「優秀議会広報クリニック
3つの議会広報が教えて

くれること」

編集後記

暑さ寒さも彼岸までといいますが、今年も余すところ二ヶ月となりました。日一日と寒くなります。今年も燃油の高騰で家計への負担も大きく大変だと思えます。

またコロナウイルスの感染者数も少なくなりましたがまだまだ対策が必要です。手洗いウガイ消毒など感染対策をしっかり取って感染しないよう気を付けましょう。

これから寒さもますます厳しくなります。暖をしっかりと取って風邪などひかないよう寒い冬を乗り切ってください。

記【竹内】

議会広報編集委員

委員長

吉田 安男

副委員長

佐々木 信彦

委員

堀 祐介

野崎 信行

竹内 盛雄

岩泉 利